

みずほCustomer Desk Report 2019/09/20 号(As of 2019/09/19)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.44	1.1029	119.62	1.2469	0.6823
SYD-NY High	108.47	1.1073	119.66	1.2560	0.6831
SYD-NY Low	107.79	1.1023	118.97	1.2438	0.6780
NY 5:00 PM	108.05	1.1040	119.31	1.2522	0.6790
NY DOW	27,094.79	▲ 52.29	日本2年債	-0.3000	▲ 3.00bp
NASDAQ	8,182.88	5.49	日本10年債	-0.2200	▲ 3.00bp
S&P	3,006.79	0.06	米国2年債	1.7419	▲ 2.02bp
日経平均	22,044.45	83.74	米国5年債	1.6622	▲ 1.40bp
TOPIX	1,615.66	9.04	米国10年債	1.7866	▲ 1.22bp
シカゴ日経先物	21,985	40	独10年債	-0.5105	0.00bp
ロンドンFT	7,356.42	42.37	英10年債	0.6330	▲ 0.65bp
DAX	12,457.70	68.08	豪10年債	1.0460	▲ 8.50bp
ハンセン指数	26,468.95	▲ 285.17	USDJPY 1M Vol	6.00	▲ 0.20%
上海総合	2,999.28	13.62	USDJPY 3M Vol	6.48	▲ 0.03%
NY金	1,506.20	▲ 9.60	USDJPY 6M Vol	6.54	▲ 0.01%
WTI	58.19	0.15	USDJPY 1M 25RR	-1.60	Yen Call Over
CRB指数	177.77	0.13	EURJPY 3M Vol	6.88	0.00%
ドルインデックス	98.27	▲ 0.29	EURJPY 6M Vol	7.03	▲ 0.02%

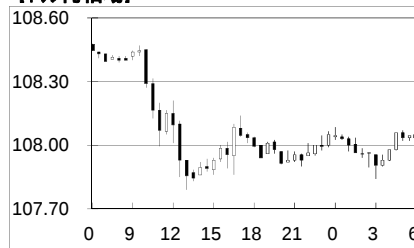
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月19日	10:30	豪雇用者数変化/失業率	8月 34.7k/5.3%	15.0k/5.2%
	日	日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.10%
	日	黒田日銀総裁「追加緩和の余地は充分にある。マイナス金利拡大も選択肢」	-	-0.10%
	17:30	英小売売上高(除く自動車燃料・前年比/前年比)	8月 -0.3%/2.2%	-0.3%/2.3%
	20:00	英イングランド銀行 政策金利	-	0.75%
	21:30	米フィラデルフィア連銀景況指数	9月 12	10.5
	21:30	米新規失業保険申請件数	-	213k
	23:00	米中古住宅販売件数	8月 5.49M	5.38M

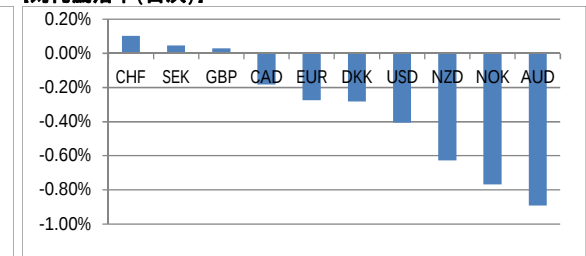
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月20日	08:30	日 全国CPI/CPIコア/コアコアCPI(前年比)	8月 0.3%/0.5%/0.5%	0.5%/0.6%/0.6%
	21:15	米 ウィリアムズNY連銀総裁講演	-	-
9月21日	00:20	米 ローゼン格林・ボストン連銀総裁講演	-	-
	2:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.80-109.00	1.1000-1.1100	119.00-120.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル/円は方向感に欠く展開。アジア時間に日銀金融政策決定会合での政策変更なしの発表を受け、107円台に再び下落したドル円相場は、欧州時間に108円台を再び回復するとその後は108円を挟んでもみ合う展開に。

本日のドル/円は堅調な推移を予想。日米中央銀行の政策会合を無難に通過し、欧米中銀の金融緩和、米中貿易交渉の進展期待からリスクセンチメントも良好な状況が続く中、ドル円も底堅い展開が継続するものと思われる。

東京	FOMCにおいて政策金利見通しが市場予想より効率的な内容であったことを受け、東京時間のドル円は108.44レベルでオープン。仲値付近までは高値圏での推移となり108.47まで上昇するも、約1ヶ月半ぶりの円安水準であったことから円買いが優勢となり、一時108円を下回る展開となった。注目の日銀金融政策決定会合の結果は現状維持となり、追加緩和の一部期待が剥落。一段の円高が進行し107.79まで下落。その後は黒田日銀総裁の会見を控え、動意に乏しい中107.99レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.99レベルでオープン、ロンドン朝方に108.14まで反発したが、日銀が声明文の最後に「経済・物価見直しを作成する次の金融政策決定会合において、経済・物価動向を改めて点検していく考え」と述べ、次回(10月30-31日)に動くのではとの思惑が残ったことが意識されて、勢いは無かった。結局、オープンと殆ど同水準の107.96レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1044レベルでオープン。第2四半期ユーロ圏経常収支の黒字幅が拡大したことや、北欧のルヴィー中銀が利上げを発表したタイミングで1.1073までユーロ買いが進展。1.1068レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2469レベルでオープン。英政府がブレジットを巡りEUに書面を提出したとのヘッドラインが伝わったことから、1.2500まで買われる。注目された英中銀金融政策決定会合は、9会合連続となる。政策金利の据え置きを発表。声明では、英EU離脱をめぐる不透明感がさらに長引けば、需要が抑制されて供給過剰が進み「国内の物価上昇圧力が徐々に低下していく」との見通しを示し、1.2438まで下落。1.2470レベルでNYに渡った。(ロンドン・ルヴィー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	日銀金融政策決定会合結果発表を前に、本邦勢の円買いが強まるかな、日銀が一部で期待された追加緩和を発表しなかったことから、海外市場でドル円は107.79まで下落するが、その後は黒田日銀総裁が前回の会合よりも金融緩和に前向きになっていると話したことから、その後は下げ渋り、107.96レベルでNYオープン。朝方は米9月フィラデルフィア連銀景況指数が予想を上回り、新規失業保険申請件数も予想より少なかったものの、ドル円の反応は限定的となる。続いて発表された米8月先行指数ならびに8月中古住宅販売件数が予想を上回ったものの、ドル円の反応は薄かった。その後はFOMC、日銀金融政策決定会合と大きなイベントを通過したことから、ドル円は狭いレンジでの推移が続く。午後はロンドン欧州委員長の「10月末までに英EU離脱合意可能と認識」と楽観的な発言したことが伝わると、ポンド買い、ユーロ買い、ドル売りが強まり、ドル円は107.84まで下押しする。その後は再びドルが買い戻され108.07まで戻し、108.05レベルでクロスした。一方、ユーロ圏7月経常黒字が前回から拡大したこと等から、海外市場のユーロドルは1.1073まで戻し、1.1068レベルでNYオープン。朝方は英中銀理事会を受けて上昇していたユーロポンドが反落する動きに、ユーロドルも1.1039まで反落する。午後に入り、前述のロンドン欧州委員長の発言を受け、一旦1.1061まで戻す局面もあったが、終盤に掛けては調整からドルが買い戻され、1.1040レベルでクロスした。(NY止上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・原田